

一般社団法人いんくるぱれっと こどもでいさーびす にじいろ 児童発達支援評価表 平成30年度 事業所における自己評価の結果(公表)

公表:平成31年3月31日

事業所名:こどもでいさーびす にじいろ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13 (87%)	1 (7%)	活動内容によっては、座位保持椅子やテーブルを片付けて活動空間を確保する。また、雨の日などは児童館等を利用するなど工夫していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	14 (93%)	0 (0%)	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14 (93%)	0 (0%)	利用者のそれぞれの特性を考慮し、段差をなくす工夫をしたり、トイレの通路ドアに鍵を取り付けるなど安全を確保している。必要に応じ対応する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14 (93%)	0 (0%)	清掃マニュアルを作成している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9 (60%)	4 (27%)	職員の人数が多いので、情報の共有の仕方には課題がある。共有のための方策を探っていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10 (67%)	1 (7%)	実施予定
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5 (33%)	3 (20%)	実施予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3 (20%)	7 (47%)	実施予定
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10 (67%)	2 (13%)	30年度は、特別支援学校授業力向上研修・発達障がい支援セミナー等を受講しており、研修内容をスタッフミーティングなどで共有する時間をとっている。更に研鑽を積みたい。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	14 (93%)	0 (0%)	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9 (60%)	2 (13%)	使用しているものが、全ての児童についてしっかりとくるものではないので、使いやすいツールを探して共有したい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9 (60%)	0 (0%)	スタッフミーティングで支援計画の見直しを行っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14 (93%)	0 (0%)	
	14	活動プログラムの立案をチームで行なっているか	8 (53%)	4 (27%)	常勤職員が中心となり、活動プログラムを組み立てているが、年間・月案等プログラムを予め組み立て、広く職員が参画できるようにしていきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12 (80%)	1 (7%)	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成しているか	11 (73%)	0 (0%)	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7 (47%)	7 (47%)	常勤スタッフを中心に具体的な支援活動やスタッフの役割等を確認しあい、非常勤スタッフに伝えていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7 (47%)	8 (53%)	「いいこと会」を行い、その日の活動の振り返り、共有を行っている。(いいこと会の目的が共有できていなかった)気づいた点を記録に残し、全職員が見られるようにしているが、足りない部分もあるので記録として残し、共有する工夫をしていく。

	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10 (67%)	2 (13%)	連絡帳で親御さんに確認してもらっている。支援目標や発達に対する評価につながる目的を持った記録が不足しないよう記録のとり方について職員間で共有したい。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11 (73%)	1 (7%)	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9 (60%)	1 (7%)	相談支援を利用されている方は少ない。事業所連絡会には管理者が出席している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9 (60%)	2 (13%)	市の保健師等と連絡をとり、受け入れを行ったり対応をしている。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7 (47%)	3 (20%)	ご要望があれば対応したい。
	24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7 (47%)	1 (7%)	主治医から指示書を頂き、連絡先を確認している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9 (60%)	1 (7%)	保育園等と情報を共有している。必要に応じ
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9 (60%)	1 (7%)	特別支援学校には情報提供し、相互理解を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7 (47%)	2 (13%)	
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動をする機会があるか	9 (60%)	5 (33%)	特定の保育園や幼稚園との交流はないが、週に1度市内の仲田の森で活動し、地域の子ども達と触れ合う機会がある。また、児童館、地域のあそび場などに出かけて行き、交流を心がけている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6 (40%)	4 (27%)	機会があれば参加したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	13 (87%)	1 (7%)	送迎時にその日の様子等を伝える時間をとり、連絡帳でも活動内容や状況伝えている。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	8 (53%)	2 (13%)	保護者のニーズを探っていきたい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10 (67%)	1 (7%)	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	12 (80%)	2 (13%)	出勤の少ない職員に伝わらないことがあるので、共有できる仕組みを考えていきたい。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14 (93%)	1 (7%)	連絡帳や送迎時、電話等通じて、相談等に応じている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13 (87%)	1 (7%)	年に数回イベントを開催し保護者同士の交流の機会を作ったり、にじいろカフェを開催している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12 (80%)	2 (13%)	迅速に対応できないこともある。 連絡帳や送迎時に保護者とコンタクトが取れるので、申し入れがあった場合には対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15 (100%)	0 (0%)	月に1回にじいろだより・ほけんだよりを発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	14 (93%)	0 (0%)	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14 (93%)	1 (7%)	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5 (33%)	9 (60%)	月2回定期的に紙芝居のボランティアさんとの交流がある。その他にもどのような交流の方法があるか探っていきたい。
非常	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12 (80%)	2 (13%)	マニュアルの周知を徹底したい。月1回避難訓練を行っているので、振り返りをしっかり行い、実際の場面で生かせるようマニュアルの改善を行いたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13 (87%)	1 (7%)	毎月1日を訓練の日としている。
	43	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	14 (93%)	0 (0%)	

時の 対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10 (67%)	2 (13%)	昼食・おやつとも家庭からの持参品であり、利用開始前に聞き取りも行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14 (93%)	0 (0%)	月一回のスタッフミーティングでも、スタッフ間で共有できるようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12 (80%)	2 (13%)	スタッフミーティングで研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9 (60%)	1 (7%)	身体拘束は行わないことを前提としているが、可能性も考えて対応していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。